

介護福祉士養成施設変更計画書

1 名称		〇〇〇〇専門学校 (△△△△科)					
2 位置		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地					
3 設置者 (法人の場合は 名称・所在地)	氏名	〇〇〇〇法人					
	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地					
4 設置年月日							
5 種類等	種類	1学年 の定員	学級数	1学級 の定員	修業 年限	授業開始 予定年月日	
	(1) 第1号養成施設 (養成施設指定 規則第5条) (昼間課程・夜間課程)	40	1	40	2	〇〇年〇月 〇日	
	(2) 第2号養成施設 (養成施設指定 規則第6条) (昼間課程・夜間課程)						
	(3) 第3号養成施設 (養成施設指定 規則第7条) (昼間課程・夜間課程)						
6 養成施設の 長の氏名		7 専任事務職員氏名					
8 専任教員 (教務に関する主任者に は氏名の前に◎印をし、 各領域の科目編成等を行 う者には、○印をするこ と)	氏名	年齢	担当科目	資格名	指定規則該当番号	教員調書 頁番号	
	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>例 イ、ロ、ハのいずれかを記入。 第5条第5号 イ 介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師又は社会福祉士の資格を取得した後五年以上の実務経験を有する者 ロ 学校教育法に基づく大学(大学院及び短期大学を含む。)又は高等専門学校において、教授、准教授、助教又は講師として、その担当する教育に関し教授する資格を有する者 ハ 学校教育法に基づく専修学校の専門課程の教員として、その担当する教育に関し三年以上の経験を有する者</p> </div>						
9 医療的ケアを担当する教員							
10 その他の教員							
11 開講科目対照表	領域	教育内容 (時間数)	開講科目名称				時間数
	人間と社会	人間の尊厳と自立 (30)					

「1 名称」

- ・学部、学科、コース等の最小単位まで記入する。

「2 位置」

- ・養成施設の所在地を県名から記入する。

「4 設置年月日」

- ・養成施設の予定設置年月日(学校や法人の設置年月日ではないこと)を記入する。(定員増の場合は、設置した日)

「5 種類等」

- ・昼間課程、夜間課程を○で囲む。
- ・授業開始年月日は、変更の場合、変更予定年月日を記入する。

「8 専任教員」

・氏名

フルネームで記入する。

・年齢

申請年度の9月30日時点の年齢を記載する。

・担当する科目

開校時に実際に担当する科目を記入する。

科目名は省略せずに、学則上定める科目名を記入する。

ただし、1つの科目を複数の教員が担当する場合には、科目名の末尾に□として、内容の区別を記入する。

・資格名

社会福祉士、介護福祉士、医師、看護師、医師等担当科目の資格要件になる資格のみ記入する。

また、修士、博士についても同様(担当科目の資格要件になる資格のみ記入する。

・指針該当番号

指定規則第5条を参照すること。

担当科目が2つ以上ある教員については、それぞれの科目について該当する番号が異なる場合には記入する。

1担当科目について該当する番号が複数ある場合には、いずれか一つとする。

・教員調書頁番号

専任教員調書に記載されている右上の番号(No.)と同じものにする。

「9 医療的ケアを担当する教員」・「10 その他の教員」

- ・専任教員に準じて記入する。

「11 開講科目対照表」

- ・介護実習については、介護実習Ⅰ・介護実習Ⅱの区分ごとに開講科目名称を記載する。

12 建 物	土地面積	教室等の名称 (各室毎に記入すること)	面 積	共用先(共用する場合についてのみ記入)	教室等の名称 (各室毎に記入すること)	面 積	共用先(共用する場合についてのみ記入)	
	計〇〇〇〇㎡	普通教室A	〇〇.〇㎡		講師空室	〇〇.〇㎡		
		普通教室B	〇〇.〇㎡		事務室	〇〇.〇㎡	学内共用	
	建物延面積	介護実習室	〇〇.〇㎡		保健室	〇〇.〇㎡	学内共用	
	計〇〇〇〇㎡	入浴実習室	〇〇.〇㎡		演習室	〇〇.〇㎡		
13 教 育 用 機 器 器 具 及 び 模 型	実習用モデル人形	〇体	視聴覚機器	〇器				
	人体骨格模型	〇体	障害者用調理器具・食器類	〇台				
	成人用ベッド	〇床	和式布団一式	〇式				
	移動用リフト	〇台	吸引装置一式	〇式				
	スライディングボード・マット	〇台	経営栄養用具一式	〇式				
	車いす	〇台	処置台又はワゴン	〇台				
	簡易浴槽	〇槽	吸引訓練モデル	〇体				
	ストレッチャー	〇個	経営栄養訓練モデル	〇体				
	排せつ用具	〇個	心肺蘇生訓練用器材一式	〇式				
	歩行補助つえ	〇本	人体解剖模型	〇体				
盲人安全つえ	〇本							
14 実 習 施 設	施設名及び施設種別	氏名(法人にあつては名称)	設 置 年月日	位 置	入所 定員	実習指 導者	実習指導者調 書頁番号	実 習 区 分
	特別養護老人ホーム 〇〇苑	社会福祉法人 〇〇〇	昭和〇年〇月〇 日	〇〇県〇〇市〇 〇町〇-〇	100名	〇〇〇〇		I II
								I II
								I II
15 整 備 に 要 す る 経 費	区分	整備方法		金額				
	土地	自己所有・寄付・買収・その他()		千円				
	建物	自己所有・寄付・買収・その他()		千円				
	設備			千円				
	合計			千円				
16 資 金 計 画	区分	金額						
	自己資金	千円						
	借入金	千円						
	その他(具体的に)	千円						
	合計	千円						

「12 建物」

- ・土地面積
- ・建物延面積
- ・教室等の名称
- ・面積
- ・共有先

登記簿上の面積を記入する。
 登記簿上及び建設予定の建物の面積を合算して記入する。
 養成施設として使用する教室等について記入する。
 実面積(内法で計測したもの)を記入する。
 学内すべての学部、学科が共有する場合「学内共有」と記入する。
 他学部、学科が共有する場合は「〇〇学科」と具体的に記入する。
 なお、養成施設単独の場合は記入不要。

「13 教育用機器器具及び模型」

- ・値は添付書類の「教育用機器器具及び模型」に記載されたものの合計を記入する。

「14 実習施設」

- ・実習施設は、各施設、事業ごとに記入する。

- ・施設名及び施設種別
- ・設置年月日
- ・位置
- ・実習指導者
- ・実習指導者調書頁番号

施設種別を上段、名称を下段に記入する。
 実習事業等の開始年月日を記入する。
 実習施設の所在地を都道府県名から記入する。
 フルネームで記入する。
 1施設で、2名以上の実習指導者がいる場合には、「1-1、1-2」と枝番にする。

(注1) 記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜様式の枚数を増加し、この様式に準じた設置計画書を作成すること。

(注2) 8の専任教員の資格名欄には、介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士の資格を持つ者について記入すること。

(注3) 8の専任教員の指定規則該当番号の欄には、指定規則中の専任教員の要件のうち該当する条項を記入すること。（〈例〉5-5-1イ）

また、医療的ケアを担当する教員の指図該当番号の欄には、

(1) 医療的ケア教員講習会修了者であって、かつ医師、保健師、助産師、看護師の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する者

(2) 介護職員によるたんの吸引等の試行事業又は研修事業（不特定多数の者を対象としたものに限る。）における指導者講習会を修了した者であって、かつ医師、保健師、助産師、看護師の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する者

のうち、いずれか該当する番号を記載すること。

(注4) 12の建物欄には、介護実習室は、専らベッドを用いる実習室（m）と和室（畳）を区別して記入すること。

(注5) 15の整備に要する経費及び16の資金計画については、地方公共団体が設置する場合は記入不要。